

イチゴジャムおいしかったね!

5歳児が4歳児の時に植えたイチゴが真っ赤に実りました。子どもたちは収穫を心待ちにしていたので、収穫は大きな喜びとなりました。



イチゴできたかな...



真っ赤なイチゴができてる!

イチゴの収穫を楽しみにしていたのは5歳児だけではなく、3歳児4歳児も楽しみにしていました。



こんなにたくさんできたよ!

「このイチゴどうする?」



甘くておいしい!

自分たちが植えて育て収穫したイチゴ。まずはそのまま食べました。「とってもおいしい!全部わたしたちで食べちゃおうよ!(迫真の演技)」と担任が言うと「小さい組さんにもあげなきゃ」という子どもたちの優しい気持ちに胸が温くなりました。たくさん採れたイチゴ。「どうやって食べる?」と作戦会議(そら・つき・にじ組会議)を何回もしました。話し合いの結果「イチゴジャム」をみんなで作るようになりました。

みんなのために
Let's クッキング!

美味しいジャムを作ろう!



いよいよイチゴジャムづくり!



ジュースみたいになってきた



一人一人ゆっくりゆっくりへらで混ぜ、心を込めて作りました。

ゆっくり...
ゆっくり...

できあがり!



1回目はクラッカーにのせて、
2回目はパンに挟んで食べました。

冷凍していたイチゴを事前に解凍しました。ファスナー付き保存袋に入れ、みんなでもみました

甘いにおいがする

「おまたせ!美味しいイチゴジャムだよ!」

ジャムができたよ!

ありがとう!



どうぞ!



できあがったジャムを3・4歳児に届けに行きました。みんな喜んでくれて、喜んでくれたことがうれしくて、5歳児のみんなも笑顔になりました。

美味しい!



美味しかったよ
ありがとう!



完食した後、すぐにお礼の気持ちを伝えに来てくれました。

「喜んでくれて良かったね」

甘〜いにおい!
おいしそう!



美味しいね!



植え付けから管理、収穫、調理、食べる。これらを経験した5歳児。この経験で植物の生長に関する興味(科学する心)が高まりました。何より「育てて食べる」喜びを感じました。3・4歳児は甘いイチゴジャムの味を通して「そら組・つき組・にじ組さん大好き!」と親しみの気持ちを持ちました。4歳児にとっては「あんな大きい組になりたいな」と少しずつ少しずつその想いが積み重なる経験となっていると思います。イチゴ栽培を通して、半年以上にわたる活動と子どもたちの想いが重なり、素敵な瞬間と笑顔が生まれました。